

取組事例の名称		除染効果実証実験に係る個別（伊達市下小国地区）除染活動作業
概要	対象	除染
	種別	<input type="checkbox"/> 救援 <input type="checkbox"/> 機能回復 <input type="checkbox"/> 新・増設 <input type="checkbox"/> 復興 <input checked="" type="checkbox"/> その他（除染ガイドライン作成のための実証実験）
	規模	家屋除染：屋根 1,225m ² 、庭・側溝 733m 畑等除染：平地 14,670m ² 、傾斜地 16,900m ² 森林：2,240m ² 、道路：1,500m ² 、その他：グラウンド遊具等
	実施会社	西松建設株式会社
	実施場所	福島県 伊達市
	発注者	日本原子力研究機構
	1. 工事等取組の目的及び概要と採用した技術名称 名称：自治体における本格除染前の実証実験 当該除染区域の除染前の汚染状況等の結果を鑑み、発注者にて汚染状況に応じた除染計画を立案している。その計画に基づき、効果的な除染技術の実証等を行った。	
2. 当該技術を採用した理由、当該技術に期待した成果 名称：ショットブラスト工法による道路除染 理由：極力水を使用しない工法を採用するという発注者からの指示による。 成果：噴射圧を段階的に変更できるため、アスファルト、コンクリートで高压洗浄より、効果的な線量の低下を期待した。		
(写真、イラスト)		
		

取組事例の名称	除染効果実証実験に係る個別（伊達市下小国地区）除染活動作業
<p>3. 工事等の実施に当たっての課題や留意した事項、苦勞した事柄・教訓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瓦屋根の上は足場が悪く、除染作業に時間を費やした。 ・雪止め、トタンの重なり部は線量が高く、ふき取りのみでは効果が表れない。 ・遊具のゴムタイヤ等、非常に線量が高く、最終的には撤去した。 	
<p>4. 実施後の成果に対する発注者や地元住民等の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの作業が作業員による手作業だったため、効率化を図ることが重要である。 ・除染することで線量が大幅に低下したため、それなりの評価は得られた。 	
<p>5. 採用した技術に対する改善点、望まれる技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショットブラストに関しては、非常に効果的な除染手法であるが、施工範囲が狭いと、割高になってしまう。コンクリート研磨機や乾式洗浄との組合せで、より良い手法を開発すべきである。 	
<p>6. 今回の取組を通じ、将来の災害対応の為に準備すべきと感じた事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除染作業の必要性は、住民が生活している箇所では、早急に行うべきと判断する。しかし、国の対応は、仮置場は自治体まかせであり、中間処理施設においては、場所・規模とも未定である。これでは、いくら請負者が懸命に除染を行っても、意味がない！災害時の緊急対策セクションを設けるべきである。 	
NETIS登録	